

ハッピーバレンタインデー



暖かい春へと一步を踏み出す二月。月初めの節分で元気に鬼を追い払い、今年一年精一杯頑張れるように寒さも吹き飛ばしていきましよう。

親しい人を感じる気持ちは心をほっと温める魔法のようですが、相手にはなかなか伝わりにくいところがあります。日頃の感謝を甘いチョコレートに包んで手渡せば、きっと笑顔の輪が広がることでしょう。そんなありがたいチャンスが巡って来る頃です。

チョコレート作りの専門家、シヨコラティエが創意工夫したこだわりの味や色、形のチョコレートカタログで選んだり、固形のチョコレートを溶かして手作りに挑戦したり、贈る相手(自分用かも?)を思い浮かべてあれこれ思案する時間も楽しみの一つです。

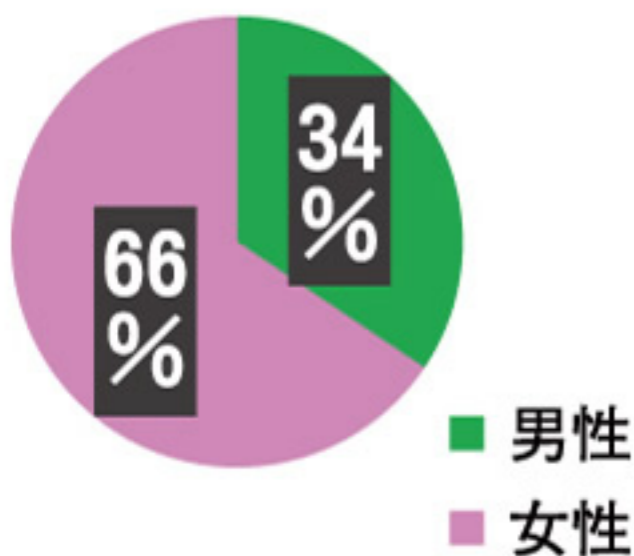
美味しいチョコレートも、その主成分であるカカオ豆に高い栄養素が含まれていることを知れば毎日でも食べたくなりますね。四千年以上もの昔からカカオ豆をすり潰した飲み物が薬として珍重されていたとは驚きです。植物の色素や苦味成分ポリフェノールには、老化の原因である体内の活性酸素を除去し、コレステロールの酸化を防いで動脈硬化を予防する効果や、シミやしわなど紫外線による肌の衰えを抑制する働き、また、血管を広げて血圧を下げる効果や血中のストレスホルモン分泌を抑えてストレスを緩和させる効果など、挙げればきりがなほどの健康効果が期待できます。

心や身体の栄養も一緒に摂れるチョコレートを贈り合う文化が年に一度でも世界中で続けば、経済効果もプラスして平和への願いも叶うかもしれないと希望が膨らみます。

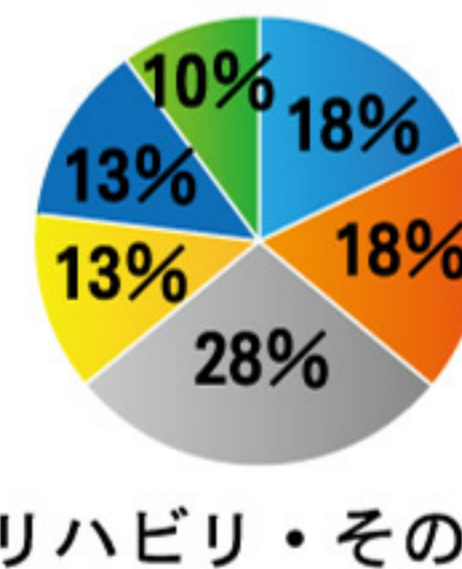
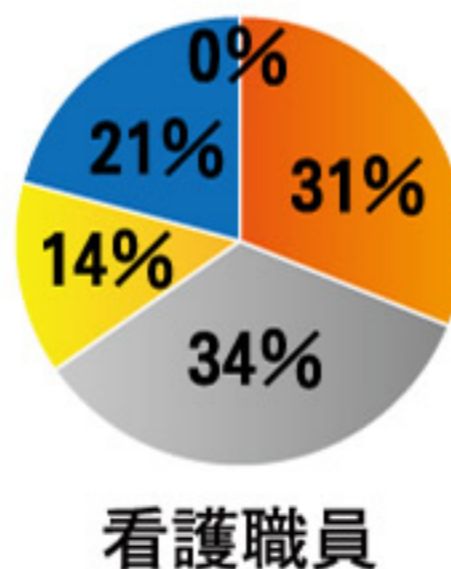
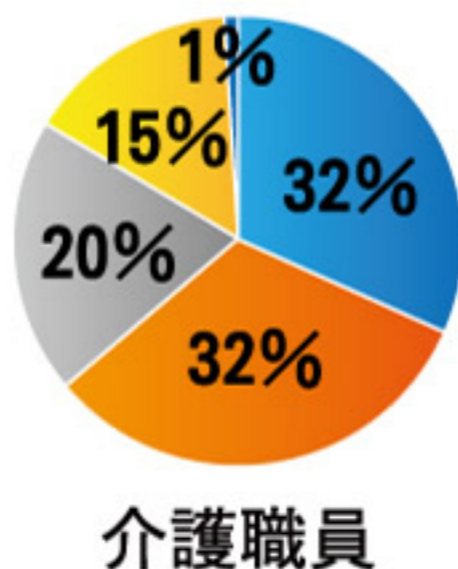
作業療法士 佐々木えりな

特集 国立あおやぎ苑 ここが気になる!! 第4回 国立あおやぎ苑の職員の男女比や年齢層の割合が気になる!

男女比



年齢層



- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代

平成29年1月1日現在、苑内で勤務する職員について、男女比や年齢層の割合を調べてみました。

206名の職員中、男性71名、女性135名と女性職員が圧倒的に多いと分かりました。介護労働安定センターの平成27年度の調査で、施設で介護に直接関わる全ての職種において女性が多いと示されていますが、当苑でも女性が65%という結果となりました。

年齢層の割合については、介護職員では、20代、30代、看護職員では、30代、40代が多いことがわかりました。前述の調査では、介護職員の平均年齢が42.5歳、看護職員が46.7歳とやや高めです。介護の仕事は重労働の面があり、若い労働力を十分に確保している当苑は活気があり、また、若いうちから経験を積むことにより、より専門性の高い職員を多数育成できる利点があるといえるでしょう。看護職員の方が年齢が高めなのは、経験に基づいた質の高い医療を提供できる面で皆様に安心して頂けると思います。全体的には、各世代に職員がおり、あらゆる価値観を持って皆様のご希望に添えるサービスが提供できると思います。

若い女性の多さから考えると、今後、結婚、出産、育児のため、離職する可能性があり、その点では、産休や育児休暇が取りやすく、子育てと仕事の両立ができる女性にとって働きやすい職場環境作りに力を入れていく必要があると考えられます。次回は、勤続年数について調べたいと思います。

介護労働安定センター調べ「平成27年度介護労働実態調査結果について」より
http://www.kaigo-center.or.jp/report/pdf/h27_chousa_kekka.pdf

レクリエーション 紹介 第4回



通所リハビリでは毎月、第2・第4火曜日（月に2回）に書道クラブが行われております。既存棟、縄文棟のご利用者様合わせて50名程が参加され、講師の先生は毎回2名の方がお越しでございます。小筆を利用し毎回違うお手本を元に、数枚練習し清書します。普通の半紙だけではなく、季節ごとに短冊やカレンダー用紙などに書いたりもします。作品はフロアーの柱に貼り出し皆様で鑑賞するのですが、「この字はりっぱな字だね〜。あなたは上手ですね！あなたこそ〜！」などと会話も増え、笑顔が多くなります。書かれている間、皆様はとても集中され楽しまれている様子が、書道クラブは大変人気があります。

通所リハビリ課 天野美穂

あおやぎ徒然草 16

あおやぎ徒然草 第16回
～俳句編～

元旦より良いお天気続きで、今年が良い年になる予告のようです。私もお正月から心温まる嬉しい思いを致しました。

レクリエーションの時間、皆揃って輪投げに参加です。先生は、一人ひとりに、「頑張って」と応援です。先生がHさんに「〇〇さんの番だからHさんも応援しましょう。」と言うとHさんは「〇〇さん頑張れ」と応援しました。いつも声を出さないHさんなので、私はびっくり。Hさんも良い声が出るのだと思いました。先生お二人は、手をたたいて大喜びです。私は、Hさんが声を出したことも驚きですが、お二人の先生が自分のことのように大喜びしたことが、なんと優しい先生方だろうと思いました。本人を傷つけずに声を出す訓練をしてあげているのだと思ったら、あおやぎ苑を誇りに思い、私達は幸せだとしみじみ思いました。

諸先生方、今年もよろしくお願いいたします。

松過の又も光陰矢の如し
高浜虚子
梅林や川ともならず水流れ
辻りん

2017年の抱負



絵=OT丸藤

クリスマス会



12月16日縄文棟通所、17日既存棟通所と縄文棟入所、18日に既存棟入所にて、それぞれクリスマス会が行われました。クリスマス会では、各フロアで工夫をこらした催し物が披露され、通所両日のクリスマス会と24日の入所キャンドルサービスでは、リハビリ男性職員が今年もカップスを披露しました。カップスの様子は動画配信サイトYouTubeでもご覧いただけますので、興味のある方は『あおりは』で検索してみてください。



こころの

私のふるさと自慢

私の心の故郷は、福島県原町市と相馬市です。私の両親共に福島で、お正月になると祖父母の家に泊まりに行っていました。親戚が集まり、歳の近い従兄弟と遊んでいました。祖父母の家では、冬になると外に干し柿が干してあり「今年も出来たよ。」と嬉しそうにお婆ちゃんがとってきます。初めて見た時は、周りしがし

わしわで色も黒っぽく抵抗がありました。お婆ちゃんが大好きだったので、「いらない」と言えずに食べていました。何とも言えない味でしたが、とっても甘かったです。今は震災の影響で、会うことも行くこともできなくなってしまいました。冬になると、お婆ちゃんの作った干し柿が食べたくなります。



リハビリ助手 峰岡愛